

地域遺産の活用とまちおこし

愛知県知多市 岡田ゆめみたい





名鉄名古屋駅から伊勢湾沿いを南下する名鉄常滑線に乗ること約20分、朝倉駅で下車。車で10分ほど走ると起伏に富んだ地形にある、愛知県知多市の岡田地区に到着する。岡田地区は江戸時代から昭和30年代にかけて知多木綿の発祥の地として栄えた。その富で得た多くの家屋敷や蔵などが作られ、現在でも人々が生活しながら保存されている。

岡田ゆめみらい（代表・勝崎芳雄さん）は貴重な地域遺産を活用し、新たな住民や観光客を呼び込むイベントの開催や地域の憩いの場となるサロンを開設するなど、まちの活性化に取り組んでいる。

朝8時半、同会の活動拠点となっている「雅休邸」を訪れる。昭和4年、医師の竹内雅休氏が岡田医院として建築・開業した建物で国の登録有形文化財。和洋折衷の大正モダンの建築様式を取り入れている。道路側にはドイツ壁のアーチ形に連続した塀が続き、午前中の早い時間限定で、塀が映り込む芸術的な影の模様を見ることが出来る。

10時、旧知多貯蓄銀行の店舗であった古民家を訪れる。手作りの暖簾をくぐると、どこか懐かしい二間続きの和室でお年寄りが団樂中。ここでは平成29年に開設された「岡田なごやかサロン」が、毎週月・火・水・金の午前中に開かれている。「地元」に高齢者の憩いの場を作りたい。それには、高齢者が愛着を持つ岡田の街並みの古い空き家を活用したい。同会メンバーの思いから実現したサロンだ。運営は同会メンバーに加えて、利用者も当番制でスタッフとなるのが特徴でコーヒーやお茶などを用意する。サロンでは健康体操や認知症予防講座も行う。ランドゴルフの後に立ち寄りしているという女性は「いつもおしゃべりに来ている。お互いの悩みも分かるし

安否確認もできる。おかげで頭も体も元気になってきた」と元氣いっぱいだ。

昼食はお食事処「範丈亭」に入りおにぎりセットでひと息。店内は思いのほか若者の姿が多い。岡田地区には古民家を改装した意欲的な店も次々と生まれ、3年前には「OKD」クラフトビール製造所、今年6月にはカフェとダイニングとパン店の入った「OZ」がオープン。このほか知多木綿のアンテナショップも開店するなど、若者にとって、岡田地区で働くことが選択肢になるような新しい動きも出てきている。

午後は、勝崎さんの案内で岡田地区の街並みを巡った。まち歩きスタートは「登り」交差点。集落の入口にかかる「岡田橋」は明治38年のコンクリ製で山車を通すために架けたという。橋を渡るとすぐになまこ壁の蔵がある。黒い壁は空襲を防ぐために塗られた。城下町や宿場町と異なり、岡田地区の蔵はそれぞれ異なる作りが特徴だ。

隣の「木綿蔵・ちた」は明治後期に竹内虎王が立てた木綿蔵で登録有形文化財。木綿を多く収納できるよう大黒柱は一本にして空間を広く確保。鳥居の形状をした昔の機械機があり機械体験もできる。

郵便局の建物は明治35年の洋風建築でこれも登録有形文化財。一時閉鎖されたが平成5年に簡易郵便局として復活。最盛期に約3000人の女工さんが木綿産業で働き故郷への仕送りや手紙などに利用された。

通りを進むと長屋門や黒板塀のある屋敷が続く。見栄えを重視した樋のない塀があったり、大正ロマンを表現した「YOSUI」と刻まれた防火水槽があったりと往年の繁栄ぶりを実感する。



岡田の街並みを代表する風景は旧竹中商店の石垣作り。S字カーブが続き通りの先が見えない。この先の景色へ想像力がかき立てられる。桜並木の坂道を登ると「岡田神明社」がある。伊勢神宮の遷宮材により社殿が造営され平成20年に葺きかえられ桧皮葺の屋根が素晴らしい。岡田地区を一巡すると複雑な地形も相まって予想以上に奥行きを感じる街並みだ。

「岡田ゆめみたい」は、平成13年に「岡田まちづくり準備会」として発足。まちの再発見をするワークショップからはじめ、岡田いろはカルタの作成と販売、カルタ大会の開催、写真集「知多木綿発祥の地・岡田繁栄の歴史」の作成と販売を行った。

平成19年には女性メンバーの発案で「岡田ゆめみたい」に団体を改称する。平成20年にはボランティアガイド養成講座の実施、平成21年には「喜楽座の思い出展」を開催。「喜楽座」は平成5年に解体された芝居小屋で、女工さんや地域住民の娯楽の場として賑わった。同年に「景観ガイドマップ」の作成や、夏休みには「岡田三世代雅休塾」を開催。雅休塾は親子で一緒に岡田の街並みを歩き一緒に体験活動を行い、現在まで継続して開催。平成24年にはバス利用に焦点を当てた観光マップを作成、平成29年からは先述の「岡田なごやかサロン」により高齢者の居場所づくりに取り組んでいる。

20年以上に渡り活動を継続できる要因として、勝崎さんは「行政や市民の間で、自分たちのまちおこし活動を理解してくれる人、ファンになってくれる人を作ることを挙げる。歩くたびに新たな魅力を発見できる岡田のまち。ぜひ一度訪れてみてほしい。」

【連絡先】
 岡田ゆめみたい (代表：勝崎芳雄さん)
 TEL 090-3953-8191